

のりまつ通信 笑顔のあふれる学校

北九州市立則松中学校 電話番号 601-0990

文責 校長 宇留島 洋志

文化祭スローガン

『千紫万紅 ～The sky is the limit～ 』



10月28日に第44回文化祭を行いました。今年の文化祭のスローガンは、一人一人が秘めている無限の可能性の花を咲かせようという意味が込められているそうです。たくさんの方のご観覧のもと、各学年趣向を凝らしたステージ発表・展示発表はいかがでしたでしょうか。短い期間の中で、学年の特徴が良く出ていたと思います。1年生は合唱「行き先」ハンドクラップ「クラッピング・ファンタジー第2番」は練習の成果が良く出て、学年が一つにまとまる素晴らしさをみせてもらいました。笑顔が印象的でした。2年生はリコーダー合奏「ハレルヤ」合唱「COSMOS」、は練習期間も短い中、大変良く声も出ていて、1年生の時より成長した姿が見られました。3年生は「未来へ」をテーマにしました。体育館には、1cm²の48,000枚の紙を1枚1枚丁寧に貼っていき、素晴らしいモザイクアートが完成し、展示しました。演劇「マイライフ」では、学年が一つになり、演じている人、見ている人が感動できました。大道具、音響など、それぞれの部門で個性が発揮されていました。合唱「虹色の未来」では、さすが3年生という歌声、ハーモニーを披露してくれました。色々なことに取組、素晴らしい物ができ、達成感があったのではないのでしょうか。また、放送演劇部が「人形館則松中バージョン」を演じていただきました。不思議な世界をテンポよく演じられていました。英語科スピーチでは、後方のスライドは工夫されていました。素晴らしいスピーチでした。箏曲部の演奏は、日本の伝統文化に触れることができました。文化部の充実していることは本校の強みでもあります。地域へのアピールもできました。職員も頑張り、練習時間の無い中、ステージ発表を行いました。生徒会のオープニング・エンディングも良く考えられていました。大変時間がかかったのではないのでしょうか。展示部門では、各教科、各学年、部活動など、日頃の学習の成果を特別教室棟に作品がたくさん飾られました。色々な工夫が凝らされていました。特に今年度は、鑑賞態度も大変良かったと思います。今後の課題としては、体育館での保護者の観覧スペースが大変狭かったということです。たくさんのご来校ありがとうございました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。





富永裕輔さんのスクールコンサート

平成 30 年 9 月 28 日実施

北九州市出身のシンガーソングライター富永裕輔さんのスクールコンサートが本校体育館で行われました。オープニングから大変盛り上がり、全校生徒が一つになる素晴らしいコンサートでした。それはきれいな声やリズムだけではなく、生徒たちにたくさんのメッセージをいただき、心に届いたからだと思います。本当にありがとうございました。企画をしていただいた教育委員会に感謝したいと思います。



生徒の感想

富永裕輔さんのコンサートを聴いて

私は今回のコンサートで、生で歌や音楽を聴くことが初めてでした。迫力があり、コンサートの時間はあっという間に過ぎ去り、とても楽しかったです。また、心の奥の方まで、すっと落ちてくる声は、気持ちよかったです。様々な音楽や楽器の音色を肌で感じ、貴重な経験をする事が出来ました。今3年生です。冬には受験が控えています。受験のことを考えてプレッシャーに押しつぶされそうな日々でした。富永さんの歌声やメロディー、歌と歌の間のトークにとても勇気づけられました。気は抜けませんが、少し肩の荷をおろすことができました気がします。エールを胸に、頑張っていきたいです。ありがとうございました。

(3年女子)

